



沖縄県読谷村

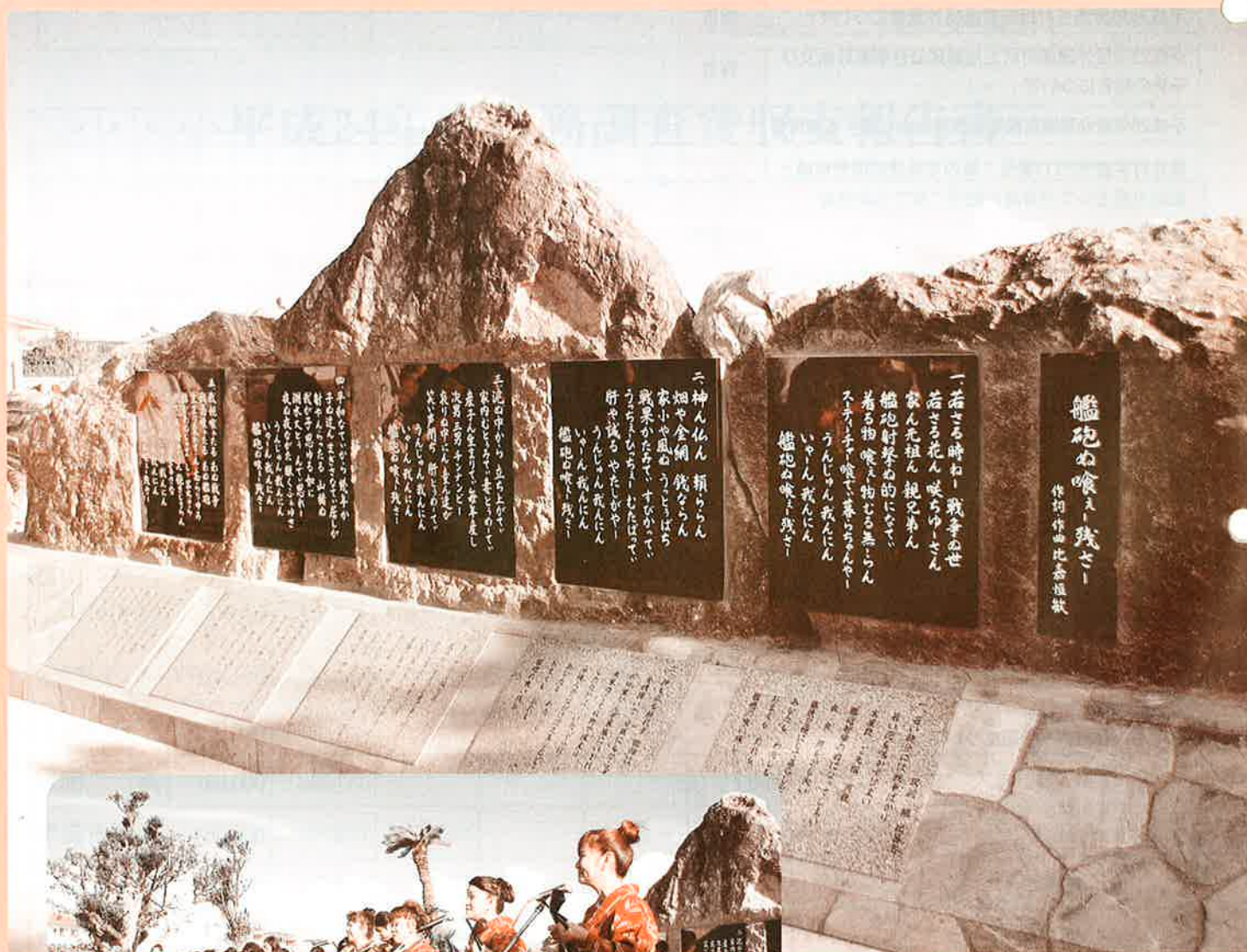
# 議会だより

54号

2013年6月定例議会

題字：與那覇 彩夏（喜名小学校6年生）

議員一般質問（16名）…………… 4



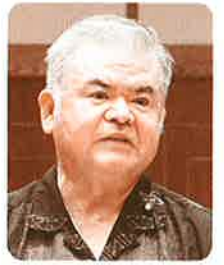
「艦砲ぬ喰えー残さー」の碑  
平成25年6月23日建立(楚辺区)

2013年(平成25年8月発行)

## 平成25年 第419～421回 臨時・定例会 議決結果賛否一覧表

件名	議決結果	議席																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
	氏名	知花徳栄	比嘉郁也	仲宗根盛良	伊波篤篤	當山勝吉	大城行治	當間良史	上地利枝子	山城正輝	城間勇	嘉手苧林春	津波古菊江	山内政徳	長浜宗則	照屋清秀	上地栄	伊佐眞武	國吉雅和	新垣修幸	
<b>第 421 回 定 例 議 会</b>																					
専決処分の承認(平成25年度読谷村下水道事業特別会計補正予算(第1号))を求めることについて	承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成24年度読谷村繰越明許費繰越計算書(一般会計)について	報告																				
平成24年度読谷村繰越明許費繰越計算書(下水道事業特別会計)について	報告																				
平成24年度読谷村継続費繰越計算書について	報告																				
平成25年度沖縄県町村土地開発公社事業計画及び予算の報告について	報告																				
平成25年度幼稚園就園奨励費補助金に関する陳情書	不	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	
読谷村字波平2333番他7筆の宅地造成開発地域と接続道路として村有地の使用に関する陳情書	不	欠	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
陳情書	継続審査																				
米空軍嘉手納基地所属のF15イーグル戦闘機の墜落事故及び訓練再開の停止を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認可外保育園への防音工事費等の助成を求める意見書	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
米空軍嘉手納基地所属のF15イーグル戦闘機の墜落事故及び訓練再開に対する抗議決議	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本維新の会共同代表橋下徹大阪市長の暴言に対する抗議決議	可	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
閉会中の継続調査申出について 総務常任委員会 ・村税の徴収実績と体制強化について ・投票事務システムについて 文教厚生常任委員会 ・教育委員との意見交換 建設経済常任委員会 ・本村の農業振興地域について		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※議案賛成者は○とし、反対者は×とします。退席者は-、欠席者は欠としています。</p> <p>議長は採決に加わらないため、斜線としています。法律により、採決に加われない議案については、除と表現しています。</p> </div>																			





上地 榮

### 一 認可外保育園の現状と向上改善について問う。

**答** 本村には認可外保育園が11施設で49人の園児が入園している。県からは児童の検診費、給食費等の10項目の補助金がある。村単独の助成として、保育環境充実費、教材費含め園児一人当たり一万五千円の助成をしている。認可外保育園に対する国の防音対策については、認可保育園と同じように補助対象にすべきである。

**問** 認可外保育園の施設の固定資産税の減免について、本土の例に習い、実施できないか。

**答** 課題の提起として受ける。

### 二 防災対策として、自主防災会の組織化と並行して全村的な総合訓練も実施することが防災意識が高まり防災対策の充実強化に役立つと思うがどう考えるか。

**答** 具体的には、①キャンプ瑞慶覧(インダストリアル、コリドー)の陸軍倉庫②牧港補給地区(キャンピングザー)の陸軍倉庫がトリー基地に移設後返還可能となる。移設される面積はマスタープランが作成されなく、把握できない。

**問** 平成24年度に長浜区、渡具知区、大添区が、平成25年度には都屋区がそれぞれ自主防災会が設立されており、防災訓練が今年度は予定されている。対象範囲を広げた防災訓練については三年以内をめざして取り組む。

**問** 当局の取り組みは。

**答** 新たな基地機能強化については、受け入れられない旨の要請を行っている。

### 三 嘉手納以南の6施設の返還計画の発表に伴い、トリー基地嘉手納弾薬庫の状況はどうなるか。

**問** 本村は少子高齢化、人口減少が地域の衰退を招く要因になることから人口増加社会をめざすとしている。そこで本村の人口増加計画、高齢者福祉対策はどうするか。

### 四 本村の人口増加計画と高齢者福祉について

**問** 本村の人口増加計画は

**答** 統合計画において、本村に関わる内容として、沖縄において代替施設が提供され次第返還可能となる区域にトリー基地が含まれて

**答** 本村の人口増加計画はない。第四次総合計画では平成29年度の人口は四万五千五百人を想定している。平成26年度の高齢化率は17.4%と見込まれるため、高齢者

福祉が重要となる。現在、第五期読谷村高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画を策定し、推進している。

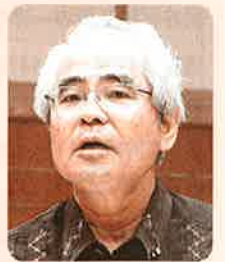
### 五 登下校の安全性の確保。

**問** 楚辺五号線から県道六号線を横切って村道楚辺線があるが、信号灯より西に50メートル程の道路が狭く生徒の登下校の際にはとても危険である。その改善策は。

**答** 嘉手納署や地元の区長など関係者の協議を踏まえ対応する。



登下校時には車の往来で児童が事故にあわないかヒヤヒヤ!



国吉 雅和

### 問 地方公務員の給与削減要請について

**答** 二月十八日付けで「平成二五年度における地方公務員の給与改定に関する取り扱い等について」要請通知が各市町村に行われている。

**問** 七月二二日の改善命令期限までに村当局の対応は

**答** 県と対応策を相談しながら新たな準備をしている。

**問** ゆいまいる共生事業について

**答** 二二公民館で利用者八八九人、ボランティア六八七人。予算総額一千二百八十九万円。

**問** 年間六八一万円の活動助成金配分で三倍のひらきを改善すべきと考えるが

**答** 各字に一律一人当たり一万千円と二十人を超えた人数に百円加算

**問** 残液いこいの広場指定管理について

**答** ①前指定管理者は、約

て検討する。

①前指定管理者は、約

約

七年間で六千二百万円の赤字で、村が直営で七年間で九千四百万円の赤字でした。②前指定管理の面積は七、九ヘクタールで、新指定管理の面積は二、八ヘクタールで管理面積が三分の一に縮小。

**要望** 維持管理費が将来の行政負担にならないこと。

**問** アカター崎景観構想(都屋漁港内)について

**答** アカター崎は県の「漁港環境整備施設用地」で都屋地域や村漁協、中部農林土木事務所等の意見を伺い検討する。

**要望** 一括交付金を活用したサッカー場が整備され管理面積も縮小されます。新指定管理者の活躍を期待します。



アカター崎 完成図

**問** (仮称) 地域振興センターについて

**答** 読谷補助飛行場跡地施設を活かした地域振興と交流拠点づくりを目的に検討委員会から六月三日答申を受けました。設置場所↓国道読谷道路と中央残波線の交差点でゆんた市場近く。財源は一括交付金で指定管理を検討している。事業主体・規模、運営主体、方法維持管理費等について庁内協議を経て明らかにしたい。



照屋 清秀

**一、村立幼稚園における預かり保育に関する現状と課題について**

(a)5村立保育園の預かり保育の現状は

**答** 渡慶次幼稚園、読谷幼稚園、喜名幼稚園が30人。古堅幼稚園28人。古堅南幼稚園が27人。(6月10日現在)。

**問** 待機児童(幼稚園児)何人か

**答** 読谷幼稚園1人、渡慶次幼稚園3人、喜名幼稚園5人。

(b)定員増(25人↓30人)に伴う担当職員の負担等はなにか

**答** 負担があると思うが、

十分保育できる範囲と思う

**問** 預かり保育で施設面は十分か

**答** 十分ではない幼稚園もある。工夫して活用してもらっている実態もある。

(c)定員増に伴う幼稚園職員の預かりへの関わりは

**答** 園児が慣れるまで、全職員で預かり保育担当職員をサポート。一年を通して当番制で職員一人増員配置して2人制で保育終了まで対応している。

**問** 教育支援員が5園を一人で対応しているが

**答** 支援員の数を増やすような関係機関と連携ができればいいかなと思う。

(d)課題は

**答** 預かり保育担当者は嘱託職員の為、担当者の保育力の向上を図ることと思う。



幼稚園での預かり保育の様子

**二、本村における不登校児について**

(a)小学校・中学校の不登校児童生徒の実数は

**答** 小学校8人。中学校5人。

**問** 不登校の継続理由として色々な要因や背景があるというが

**答** 家庭環境等の要因と思っ。いじめや学校での集団不応等々が考えられる。

**問** 自宅でのIT関係を活用した学習活動で要件満たせば出席扱いを認めている

**答** 整備を行う為の具体的計画は未策定。

**四、長浜地区を中心とした下水処理施設を早急にしては**

**答** 関係者と意見交換していききたい。

**答** 今の所更なる具体的整備は考えてない。

**問** 古窯跡や各工房を結んだ観光コースとしての活用は

**三、喜名古窯跡地を整備拡充し観光資源として一括交付金を活用しては**

**答** 本村では青少年センターに来た時を出席扱いとしている。



仲宗根盛良

一、読谷補助飛行場跡地への電線類の地中化事業について

問 同飛行場一帯への電線類の地中化計画はないか。

答 読谷村景観計画及び地域防災計画において、重要な道路として位置付けており、無電柱化を図る計画をしている。

問 地中化にあたっての行政の課題を伺う。

答 費用が大きい事と、電力会社などの費用負担もあり、又、協議会での認定路線として合意形成の成否が課題である。

問 該道路は幅員が狭く歩行者は大変危険である。交通安全の面から片側でも歩道の設置はできないか。

答 推計交通量が大きく減る見通しである事から、歩道の設置よりも村道中央残線を延伸して道路整備を行うっていく計画です。

三、役場庁舎地下通路の書類箱整備について

問 いつ頃から地下通路を活用するようになったのか。

答 平成15年度より地下通路への保管が生じている。

問 いつ頃までに正常な文書管理が可能か。

答 現在の機械室を改造して、書類を整理していく。

問 文書管理を行う館なんかの計画はありませんか。

答 総合情報センター計画の中で検討して参ります。

四、国民年金保険料の後納制度に関する広報の有効活用は

問 未納者を少なくする為に、各字区長と連携して戸主会などを活用し、再度村民への教宣はできないか。

答 各字の意向も踏まえ積極的に進めたい。

五、退職者を新採用職員の教育研修等に活用する事について

問 平成22年定例議会で退職者の活用を提起したが、その後の取り組み経過を伺いたい。

答 接遇における研修で取り入れましたが、それ以外では実践されてなく、役場退職者の会とも相談して進めたい。

問 成果と課題を伺う。

答 長年の経験を後輩に伝授していく事は大変重要であり、方法も含め検討していきたい。

六、専用ゲートボール場の建設について

問 庁舎内での協議結果と今後の方向性を伺いたい。

答 7月の村大会は村陸上競技場を試みて活用し、いろいろな角度から対応を進めたい。

問 飛行場跡地への設置計画はどのようになったか。

答 第2次飛行場跡地村民センター地区計画の中で2面の芝コートを設置する予定です。

国民年金保険料の後納制度

平成24年10月から平成27年9月30日まで  
(3年間で10年分一括納付できる。)



一、地区公園トイレの管理委託状況



長浜 宗則

答 行政としても重視性をもちながら、話し合いをしながら、ランナーズクラブ駅伝が重視するような形の工夫は必要だと感じた。

伝大会の意義と今後の支援について

答 総合公園2カ所、地区公園2カ所は24時間開いています。委託先は残波かりゆし会、読谷協同産業、街区公園は各字公民館に委託している。

問 地区公園のトイレの開閉はまちまちであり、破損やいたずらが多く夜間の施設は巡回警備で対応できないか。

答 公民館ともつと話し合ってみよう。



残波岬ランナーズ 駅伝大会

三、村内の中学校の修学旅行の意義と教育旅行プログラムの導入はできないか。

答 異なる生活環境で見聞を広め、自然や文化等に親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳等について望ましい体験を積むことは集団や

二、村道波平く残波線への片側歩道の設置について

社会の一員として、よりよい学校生活や人間関係を築こうとする自主性、実践的な態度を育てることに意義があります。現在は「観光型修学旅行」と「体験型修学旅行」になっている。

問 体験は生徒の成長に欠かせませんが、民泊型修学旅行の取り組みの考えは。

答 村内の事業所数は1,082事業所で、有職率は男性が39.7%、女性が44%、村内の就業者数は1万5千623名。

### 五、村内事業所の男女別の有職率は。

### 六、日本一の村まで、残り201日、記念切手を発行できないか。

答 記念事業としての発行は予定ありませんが提言として受けたい。

### 四、読谷村診療所の医師2名体制の維持と医学生生の奨学金制度基金の創設の導入はできないか。

答 所長医師を補佐し、村民の医療ニーズにこたえるため又、往診や在宅診療のニーズが増えつつあり医師2名体制は必要性・重要性は増している。本村においても、医師の確保について苦勞している状況にあり、



伊波 篤

### 米軍基地・統合計画について

問 本村に関わる課題は。

答 軍人軍属の増加によりさらなる事件事故の増加が懸念される。また、6号線の交通混雑、それから黙認耕作地の減少が大きな課題となるものと考えています。

問 課題に対するの対処は

答 県の軍転協の幹事会の中でも、これ以上、読谷は基地を負担するのは非常に受け入れがたい状況であるので、現時点では反対ですと申しあげました。

問 村民と一緒に情報を共有する必要があると思う。米軍基地の移設、統合計画

に関する協議の情報を村のホームページで公表できないか。

答 ホームページの活用等地域に密着した情報を積極的に開示していきたい。

### 6次産業について

問

本村の6次産業に対して積極的に関わってほしいが。

答 商工会青年部と職員が先進事例を調査研究していく。情報発信も今以上に進めていく。さらには6次産業化に向けての研修会に職員を派遣していく計画です。

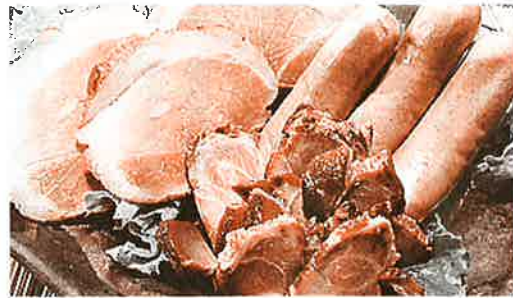
問

6次産業化推進に向け村内で活用できる施設があれば積極的に借用できないか。農村婦人の家等。

答 現在の条例がある。活用できるか今後の検討をさせていただきます。

問 商工会と連携で発行さ

### 元気な村づくりクーポンについて



読谷村のヨギファームのブランド豚『黒将』

6次産業化に向けて行政の積極的な関わりでプラス1を加えて7次産業や読谷型発想で8次産業を生み出す取り組みができないか。

答 目的は各種健診の受診率等、健康づくりへのPRや地域内消費の拡充を目指し、村内46店舗等から優待券、ポイント割増し、商品金額割引、商品サービス等多くの御協力をいただき発行することができた。

問 今後の活用方法については、健康問題の取り組みだけではなく協力店舗にダンパチ屋の割引券を加える等拡大してはどうか。

答 村づくりのいろいろな面でインセンティブを与えるためのクーポンを発行して、それを地域の商工業者を含めてやっていくのは非常にいいことだと思っています。いろんな業者の皆さんと連携してこういったことができていけたらと思っています。





り入れる学校もあります。提言「しまくとぅば」大会を学校単位で開催できないものか、又、うちな〜うちの「あいさつ」やうちな〜ぐちのことわざ、「くがにくとぅば」を一覧表にして教室に掲示して、生徒たちが何時でも目にするようにしては。

部と沖縄電力、N T Tと園路施工調整を行いました。合意に至りませんでした。今後、関係機関とどのようなことが可能か調整します。



子供たちも参加『スリー語やびらしまくとぅば大会』

問四 犯罪予防抑止の取り組みとして防犯カメラを設置できないか。(警察への要請含む)

答 嘉手納町・読谷村安全なまちづくり推進協議会が設置されております。その平成二四年度総会で、防犯カメラの設置促進を指すとしております。学校、通学路公園等の公共空間における未然防止対策と地域住民に安心感を与えるため、防犯カメラの設置は有効であると考え

問三 残波岬燈台への歩道整備と電線地中化へ取り組みはないか。

答 平成十四年に海上保安

### 村道の安全性について



当間 良史

問 ホテル日航アリビラ入り口の交差点において事故が多発しているが、本村は把握しているか。また原因は。

答 3月と4月に2件発生している。両件とも村道波平〜残波線を残波岬方面からきた車とアリビラ側からきた車の衝突事故であり、去年の台風で点滅信号が倒れ、信号が復旧するまでの間にこの2件の事故が起こっています。

問 信号の復旧に半年以上もかかっているのに、看板等での注意がなされていないが。

答 役場から嘉手納署に対

し口頭での早期復旧をお願いしていましたが、予算の都合がつかず平成24年度では実現できず、平成25年度の5月に設置された。その間、看板等の設置はしておりません。



レンタカーとの接触事故が多い交差点

### 保育園について

つき、児童福祉の観点から必要があると認める場合には地域における保育の実情を踏まえた上で、継続入所を取り扱っています。(1)次年度に小学校への就学を控えている等、入所児童の環境の変化に留意する必要があります。(2)当該児童の発達上環境の変化が好ましくないと思慮される場合。本村では県の助言を仰ぎながら在園児については育児休業に入った時点で2歳児(年度内に3歳になる年齢)クラス以上に在籍する児童については社会性等を重要視し、入所を継続することができるとしています。

問 入所基準は「読谷村保育所入所承諾基準運用方針」に基づき、審査を行っている。

答 入所基準は「読谷村保育所入所承諾基準運用方針」に基づき、審査を行っている。

問 条例に基づき、読谷村に居住している、かつ住基台帳に登録された保育に欠ける児童。また生後6カ月を経過から小学校就学前までの児童となつています。

問 入所に漏れた保護者には説明されていますか。

答 申し込みを頂いて、審査し順位を決定しています。保護者の方には窓口で説明をしております。

問 育児休業中の在園児の継続入所はどのように対応しているか。

答 厚生労働省の通知に基

問 兄弟入所について

答 本村では兄弟が一緒に入所できるように保育園の案内に配慮しています。ただし諸事情で同一園に案内できない場合もあります。



吉勝 山當

**問** 座喜味喜名田原地区の農地除外の経緯を伺う

**答** 読谷村農業振興地区整備計画の総合見直しにより農用地区域から除外されており

**再問** 総合見直しとは、

**答** 5年ごとに市町村が土地利用、農業就業人口の規模、農業生産、農林水産省令で定める基礎調査の結果、今後10年間を見通し、整備計画を変更すること。

**問** 長浜萩川地区農業施設用地農振除外の経緯を伺う。

**答** 平成10年に実施した読谷農業振興地域整備計画の総合見直しで農用地区域から除外しております。

**再問** 答弁になってない、萩川地区は平成7年2月15日許可されております。

**問** 木綿原隣接のカフエレストランの保全地域除外の経緯を伺う。

**答** 昭和48年3月22日海岸法3条に基づき知事が指定した地域であります。カフエレストランは保全地区外で除外の必要なしとのことです。

**問** 国道読谷道路渡具知地区の農振除外の経緯を伺う。

**答** 道路法による公益性が特に高いと認められた施設として平成17年度実施した総合見直しにより除外されております。

**問** 平成23年6月議会の城間議員の農振除外の村長答弁の手法について、どう議論したか、伺う。

**答** 農業上の効率的かつ総合的な利用に支障がないこと、外、農振除外の4要件が満たす必要が厳しいことの議論、温泉掘削工事の進入路は関係者と協議を重ねる。

**問** 読谷村の保安林地、防風林地、全域、面積、および課税について伺う。

**答** 保安林地は24ヘクタールで所有者は県及び読谷村で非課税です。防風林地は7万690㎡で所有者は読谷村で非課税です。保安地域は長浜及び楚辺渡具知地域で137万4300㎡です。保安地域に民有地も含まれております。また、課税対象であります。

**問** 委員会採択また議場で14対3の議員採択案件について村長の見解を伺う。

**答** 農振除外は5要件を満たさずして除外は厳しいと考えます。また、温泉掘削の手続きは推進状況を見守りたい

**再問** 地元渡具知区民の意向に対し、村長の見解は

**答** 村の計画とも整合性を図りながら、総合的に判断していきたい。



渡具知区民望む雇用の場所



上地利 枝子

**問** 食物アレルギーを有する子ども達への対応認可、認可外、公立保育園の実態と対応

**答** 認可保育園32人 認可外保育園24人 村立保育園15人となっている。認可、村立保育園では、医師の指し書を提出してもらい、それに基づいてアレルギーの原因食物を除去する。誤食を防ぐために厨房内にそれぞれの児童の原因食を提示し確認をする。専用トレイでの配膳や使用する食器へ名前を記載したり、色を変えたりする。認可外保育施設では、入園前に健康診断書や生活指導票などを提出してもらい調理室にそれぞれの児童の原因食を掲示し、食器への盛りつけの後、ラップをして名前の記入などで区別をし、配膳する対策



アレルギー対策がしっかりされている村内の学校給食

**問** 小、中学校の実態と対策

**答** 関係職員、保護者と情報交換し、アレルギー対策会議を開催しています。

**問** 介護保険二次予防事業の具体的な取り組み、25年度対象者は、

**答** 介護サービスを利用していない65歳以上五、六二

や特にアレルギーの強い児童は家庭から弁当持参をお願いすることで誤食を防いでいます。

三人に基本チェックリストを送付しているところです。

**問 「がんじゅう教室」開催地区は何ヶ所ですか**

**答** 今年度は、大湾区、喜名区、牧原区、比謝区、長田区、都屋区の6ヶ所を予定しております。

**問 がんじゅうサロンの利用状況**

**答** 現在の利用者は6人です。

**問 コーヒーシャープの利用状況**

**答** 現在の利用者は5人です。

**問 包括ケアシステムの取り組み**

**答** 国は、高齢者が尊厳を保ちながら、重度な介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が日常生活の場で一体的に提供

できる地域での体制づくり「地域包括ケアシステムの構築」を推進しております。本村も、これから地域包括支援センターを中心に協議を重ね取り組んでいく考えであります。

**問 地域福祉計画の進捗状況 福祉委員会の設置**

**答** 高齢者や障害者への地域の支援体制を構築する為、大木区と長浜区をモデル地区に選定し、地域支え合い体制づくりを進めております。区長、民生委員、社協職員、福祉課職員他、地域のボランティアで何度も話し合いを持ち、マップづくりと地域支え合い活動要綱(案)を作成することに至っております。今年度は社協にコミユニティソーシャルワーカーが配置されます。



山城 正輝

**所見** 一村議会において、議員の口をふさぎ、村民の目をふさぐという動きがある。懇親会問題封じの「注意書」送付であり、「議会だより」原稿の288字カットである。質問者に誠意ある回答を求めます。

**県と共に、住宅リフォーム助成を導入すべきこと**  
**一村長「検討していきたい」**

**問** 県は、平成25年度から住宅リフォームに助成をしている市町村に対して、二分の一の補助を行うと決定している。村民に不利益を与えないためにも村として、今度こそ住宅リフォーム助成制度を導入すべきではないか。

**答** 県助成の内容や財政状況などをふまえ、今後の活

用を検討していききたい。

**風疹予防接種助成を早急に実施すべきこと**  
**一課長「7月中に5千円助成」**

**問** 流行拡大が止まらない風疹予防のために、村として早急に助成すべきではないか。

**答** 実施は、嘉手納町など10市町村で、予定が6。流行の兆しが強いので7月中に5千円を実施したい。

**陸上競技場東の村道を早期開通すべきこと**  
**一課長「早期改善すべきと考える」**

**問** 読谷道路を横断する村道親志線波平線が閉鎖されているために、農家をはじめ村民が不便をかこっている。早急に改善すべきではないか。

**答** 10件の苦情がよせられ、大きな事故が2件発生した。早急に改善すべきと考えている。信号機をお願いしていく。

**沖縄の「ンマハラセー」(競馬)を復活すべきこと**  
**一課長「資料収集してみたい」**

**問** 沖縄子どもの国で懸命に努力している「ンマハラセー」の復活を村としても調査研究をすべきではないか。

**答** 渡慶次カタノ、楚辺ガニク、喜名ウマイーで行われていた。小刻み走法で走りの美しさで勝負を決めた沖縄独自の競馬と認識。読谷の「ンマハラセー」について資料収集してみたい。

**第一回政務調査費の効果について**  
**一部長「15人分で241万円支出」**

**答** 費用対効果及び事業成果等については、今後議会内部において判断される。

**橋下大阪市長の県民はじめ全ての人間の尊厳を踏みにじった「従軍慰安婦」暴言に抗議すべきこと**  
**一村長「非常に激しい憤りを感じる。沖縄から抗議の声を上げる」**

**ことは重要**  
安倍総裁の憲法96条改悪に反対すべきこと  
**一村長「村政運営の基本的考えも踏まえ、反対の立場にある。」**

**商業施設(スーパーなど)に投票所を設置し、投票率向上を図るべきではないか**  
**一選管委員長「総合的に勘案した結果、導入は困難」**



早期開通が望まれる親志波平線



津波古菊江

一、古堅給油所前交差点の交通量増加による児童生徒の登校時の交通安全対策について伺う

問 A 県道16号線から古堅給油所前交差点を大木バイパスへ向かう右折信号の設置について

答 右折信号を設置するには右折帯が基本的条件となる。県道16号線になるので所管の県へ右折帯の設置要請をしていく考え。

問 B 古堅南クリニック前の登校時の横断歩道での児童及び交通安全地域ボランティアの皆さんの安全確保について、信号機の設置がベストだが大木バイパス側のゲートを登校時の一時間位を開放することは可能か。

答 ゲート開放について三者協議を詰めていく。

問 C 古堅南小学校正門道路から大湾公民館通りへ抜ける一方通行道路を逆進入する車輛対策で路面標示の対策は可能か。

答 公安委員会の権限である。確認して表示が難しければ矢印等の路面標示も含めて検討していく。

二、風疹の予防接種費用の助成について

問 助成対象年齢、ワクチンの種類と助成額。

答 19歳以上で、妊婦の配偶者、妊婦を予定又は希望する女性で50才未満の者の性配偶者。助成ワクチンの種類は風疹ワクチン、麻疹、風疹混合ワクチンの両方で5千円を助成する。

三、赤ちゃんの駅設置について(赤ちゃんの駅とは誰でも授乳やおむつがえ等ができるスペースの愛称のことです)赤ちゃん連れの家族の外出やイベント等への参加が増加しており、乳幼児と親の外出先に授乳やおむつがえ等が気軽にできる施設を募集して赤ちゃんの駅を登録し、官民協働で取り組み、社会全体で子育て支援の醸成を図り、子育て環境日本一の村宣言をしてはどうか。

答 提起として子育て支援の一つとして調査研究する。

四、幼稚園預かり保育については25人から30人に増員されたが保育現場の現状と課題について伺う

答 負担感は増大しているが、二人体制で工夫できている。

再問、巡回教育支援員5幼稚園1名を2名に増員は可能か。

答 委員会としては各園に1名を希望しているが財政が厳しい中、優先順位で現状となっている。

再問、預かり保育の施設面での対応が不十分と感じるが改善について伺う

答 平成27年度の子ども子育て法案の制度見直しの中で整備なども考えていく。



大型商業施設内に設置されている「赤ちゃんの駅」



城間 勇

一、石嶺村長就任三周年になります。村政運営の総括と今後の課題解決に向けての方策について。

二、南部地区幹線道路の整備構想について。

答 (仮称) 村道比謝横断線(仮称) 村道伊良皆大湾線の進捗状況につきましては平成二十四年度に予備設計を実施し、各路線の起終点間のルートの検討などを行っております。

答 今後の課題といたしましては、高齢者社会に対応した福祉の充実、東日本大震災の教訓を生かした災害に強い地域社会の構築、農水産業から食品加工を初め、第二次産業、流通販売や観光業など、第三次産業を網羅した産業連関による第六次産業の振興、知の拠点としてこの(仮称)読谷村総合情報センターの新設、ファミリーサポートセンターや児童館の整備充実等を図り、子育て世代への支援に努めてまいります。

三、一括交付金を活用して多目的屋内施設(各種イベントも可能なドーム型観光闘牛場)の建設について

問 平成二十四年九月議会定例会での石嶺村長の答弁では闘牛に特化したというものではなくて、他目的な使用を前提に幅広く検討をしてみたいと言う前向きな答弁でしたが。

答 平成二十四年の九月議会で、村長が答弁いたしました「他目的な使用が可能

な施設」につきまして、屋外を想定しております。現在具体的な計画はございませんが、読谷飛行場の跡地利用の中で屋外劇場のような施設建設について検討中であり、その中で読谷まつり闘牛大会等の開催も視野にいて考えていきたい。

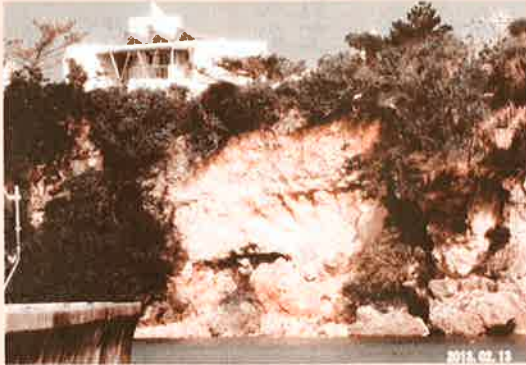
### 五、泊城公園の崖地崩落について。

**問** 地質や地形、植生、地下水状況など専門的な見地からの調査結果と今後の対応策について。

**答** 今後の対応策として、崖地対策の工事は大規模な工事が想定されますが、財政面や周辺に与える影響などから厳しい状況と考えています。また公園利用者の安全面から上部の公園施設を移動し立ち入り禁止として、公園区域の縮小も含め検討していきたい。

### 四、古堅与那久保原地域の住環境整備について。

**答** 古堅与那久保原地域は、平成十八年五月に嘉手納バイパスが海上案から陸上案へ変更されたルートに当たる地域で、村道渡具知15号線沿いを除いては、ほとんど住宅がなく、現況道路は、でこぼこの状態で排水施設もありません。道路整備と排水施設の整備につきましては、今後の土地利用などの推移をかんがみ、検討してまいりたい。



泊城公園崖地崩落の早急な対策を！



山内 政徳

**問一** 国土交通省から二〇一三年度の公共工事労務単価の大幅アップがしめされたが本村の対応はどうなっているのか。

**答** 公共工事設計労務単価は単純平均で前年度比十二・三%増となっている。

ピロリ菌を除菌した方がよいか

**⑤** ピロリ菌検診を特定健診時に公費で負担できないか（ABC判定導入）について

**答** ①ヘリコバクターピロリ菌は胃粘膜萎縮の進展に関与し胃潰瘍、胃炎、発がん原因の一種とされており、

②除菌によって、胃がんの発生が抑えられると言われている。

③重要な危険因子としての関係があるといわれている。

④除菌により胃潰瘍や胃炎の患者は胃がん発生の予防につながりますので治療を行ったほうがよい。

⑤公費負担については引き続き調査検討させていただきます。

### ※検討中!!

### 認可外保育園への給

### 食費の増額について

**答** ゼロ歳児一人当り給食費として五十円これを六十円に、一歳児以上を九七円

**問四** 横田区（十八番市）信号機近くの車の駐車状況と安全確保について

**答** 近くに特養老人ホームが開設して駐車車両が増えたとの情報がありました。駐車場の確保を検討中との事。

**問五** 低年金者の給付額の加算について、読谷村民の対象者は、金額は幾らになるか

**答** 年金収入及びその他の所得の合計金額七十七万円以下の方を対象に、月額五千円を限度として平成二十七年十月より、全国で対象者五百万人と推計されていますが、本村の対象者数は把握されておりません。

- 問二** 胃がん対策について
- ①ピロリ菌はどんな病気を起こすのか。
  - ②ピロリ菌を除菌するとどうなるのか
  - ③ピロリ菌と胃がんは関係あるのか
  - ④胃がん予防するために



胃がんの原因の一つ  
ヘリコバクターピロリ菌



伊佐 真武

一、トリイ通信施設へのオスプレイ飛来について

**問** 今後もオスプレイの飛来は続くことが予想される。どのように対処していくのか。

**答** 職員による監視行動とともに、オスプレイ反対読谷村実行委員会との連携及び県軍転協とともに日米両政府へ配備の中止を求めていきたい。

**問** トリイ通信施設の着陸帯は管理着陸帯として位置づけられており、今回の訓練は米軍の規則にも違反しているのではないか。

**答** 環境レビューに基づく訓練ではなく戦術訓練に近いのではないかと中止するよう申し入れた。ただ米軍としては人員輸送との答弁。

二、トリイ通信施設への機能強化について

**問** 「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」の中でキャンプ瑞慶覧の一部、牧港補給地区の返還条件として、陸軍倉庫のトリイ通信施設への移設が示されている。計画されている倉庫の規模と人員及び移設時期はいつか。

**答** 移設先のマスタープランは米国政府が作成することになっており、まだプランは提示されてなく規模と人員は把握していない。返還時についてはキャンプ瑞慶覧の一部が返還条件が満たされた後、二〇二四年度又はその後、牧港補給地区の大半は返還条件が満たされた後二〇二五年度又はその後、

三、読谷村花織会館に  
関連して

**問** 伝統工芸の振興に資する上からも会館南側に駐車

場整備が必要では。

**答** 読谷山花織共同組合からも要望書をいただいております。現在、利用者は福祉センター線横断を伴い危険であるとの指摘もあり、より多くの方々に読谷山花織を見て感じ知ってもらうためにも大型バスが駐車可能な駐車場を整備することは前向きに検討すべき事と考えております。

四、村道大木く比謝線整備事業について

**問** 現在の進捗状況と工事の開始時期はいつからか。

**答** この事業は大湾東土地区画整備事業による国道58号比謝交差点の改良に伴い同交差点に接続する大木く比謝も対向車との衝突を回避するなど円滑な交通を確保するため交差点部に右折帯、歩道などの設置を行う事業です。

進捗状況は、昨年実施設計を完了し、今年度は物件

補償算定委託と用地取得、物件補償を計画しております。工事開始は次年度。(まとめ)

今後予定されている南部補助幹線道路の起点にもなり、地域の皆さんも大変注目し、期待をしています。大いに頑張ってください。



村道大木く比謝線改良部分

意見書・抗議決議

MV-22オスプレイの米陸軍トリイ通信施設における飛行訓練に断固反対し、中止を求める意見書

可決

1、MV-22オスプレイの米陸軍トリイ通信施設における飛行訓練を中止すること。

MV-22オスプレイの米陸軍トリイ通信施設における飛行訓練に断固反対し、中止を求める抗議決議

可決

1、MV-22オスプレイの米陸軍トリイ通信施設における飛行訓練を中止すること。

# 平成24年度政務調査費収支報告書

交付総額18万円（平成24年4月～平成25年3月分）

\* 交付総額から支出の総額を控除して残余がある場合は返還になります。

\* 15名の収支報告となっています。

【政務調査費】政務調査費は、地方自治法第100条第14項・第15項及び読谷村議会政務調査費の交付に関する条例に基づき、議員の村政に関する調査研究に資するため必要な経費の一部として交付されるものです。

調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費
議員が行う村の事務及び行財政に関する調査研究に要する経費（講師謝礼費、交通費、宿泊費等）	団体等が開催する研修会、講演会等への議員の参加に関する経費（会費、交通費、宿泊費等）	議員が行う各種会議に要する経費（会場費、機材借上げ費、交通費、資料印刷費等）	議員が議会審議に必要な資料を作成するために要する経費（印刷・製本費、原稿料等）	議員が行う調査研究のために必要な図書・資料等の購入に要する経費（書籍購入費、新聞雑誌購読料等）	議員が行う議会活動及び村政に関する政策等の広報活動に要する経費（広報誌・報告書等印刷費、送料、交通費等）	議員が行う調査研究のための事務遂行に必要な経費（事務用品費、通信費等）

# 平成24年度政務調査費収支報告書

氏名	交付総額	使 途								残預金
		調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費	合計	
新垣 修幸	180,000	123,670				2,070			125,740	54,260
照屋 清秀	180,000	190,456				21,615			212,071	
知花 徳栄	180,000	85,950							85,950	94,050
仲宗根盛良	180,000	128,614	1,000		34,660			30,120	194,394	
伊波 篤	180,000	111,040				7,245			118,285	61,715
當山 勝吉	180,000	207,632							207,632	
大城 行治	180,000	190,456							190,456	
當間 良史	180,000	135,087				3,100			138,187	41,813
上地利枝子	180,000	190,456							190,456	
城間 勇	180,000	145,177				1,000			146,177	33,823
津波古菊江	180,000	123,670	53,301			1,000			177,971	2,029
山内 政徳	180,000	190,456							190,456	
長浜 宗則	180,000	123,670	53,301			15,565			192,536	
上地 栄	180,000	137,250			4,570		62,000		203,820	
伊佐 眞武	180,000	190,456							190,456	
計	2,700,000	2,274,040	107,602	0	39,230	51,595	62,000	30,120	2,564,587	287,690

ボランティア広場

J A 読谷支店女性部

私達 J A 女性部は心身共に健康で明るい家庭、心豊かな住み良い地域づくりを目指して常に実生活に密着した活動に取り組んでおります。J A を抛り所に自分の生き甲斐づくり、生涯学習に努め、スキルアップの為にいろいろなサークル活動も行っています。

安心安全な地産地消の推進を通して、次代を担う子供達に食農教育、文化活動と親子ふれあい体験等も行い、特に夏休み(8月)は、みそづくり、紅芋染め、カゴ作り、お菓子づくりと手づくりの良さ、アンマールの味を伝承していきます。又、地域と共に今、自分達が出来る事として、5月から波平、高志保、大木、渡慶次と各部落のユイマール事業にも参加し、加工品や余興など出張サービスも致しております。日頃は学校給食、幼稚園、保育園へのみそやおやつを提供、フアーマーズへの商品販路拡大にも寄与しております。

生産者と消費者が共存・共栄して行けるよう規格はずれの農産物を安価で買い上げ、付加価値を付け楽しみながら研究開発にも精を出しております。その収益の中から地域や高齢者の皆さんへ感謝を込めて還元しております。



平成 25 年度 J A 読谷支店 女性部役員



親子でミソづくり

主なサークル活動

月 曜 日	レクサークル	午後 3 時 ~ 5 時
月 曜 日	三味線教室 (初心者)	午後 8 時 ~ 10 時
火・金曜日	三味線教室 (上級者)	午後 8 時 ~ 10 時
水 曜 日	絵手紙教室	午後 8 時 ~ 10 時
木 曜 日	日舞サークル	午後 8 時 ~ 10 時

**※部員募集!** (現在 - 読谷支部 220 名・県女性部 10,500 名)

年齢資格は問いません。J A と係わりながら明日の大地に向かって協働の輪を広げましょう。

J A 読谷支店女性部 部長 仲宗根 悦子  
事務局 中 島 恵

傍聴へ行こう!

平成25年9月定例議会は9月10日(火)からの予定です。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 982-9225